

ベトナムの薬店には漢方薬の店が相当の勢力を占めて居り、この漢方薬店に参りますと数種の海藻類の乾燥品を販売しています。これを買って来て調べて見た処、コンブ、アミアオサ、ホンダワラ類、オキツノリ等でコンブは日本、他は香港からの輸入品だそうです。使用法はスープ用に、又は茶と同じ使用法で利用しています。

私のサイゴン滞在もあと1ヶ月足らずとなり、帰国の途中、足を伸ばしてフランス、ビアリツ市で開催の第4回万国海藻学会に出席の予定で居ります。ここでの学会の様子は帰国の上御報告したいと思っています。

越南国から日本藻類学会員各位の御自愛と御発展を祈ります。

(1961年8月8日 発信)

---

## 学 会 録 事

### 会 員 移 動

(昭和36年8月16日より昭和36年12月15日まで)

### 新 入 会 (29名)

## 住所変更 (4名)

## 評議員会記事

昭和36年10月14日、日本植物学会第26回大会を機に開催する本学会総会に先立って、評議員会が同日午後5時半から6時まで、東大構内の好仁会館会議室に於て開催された。

出席者：(A) 評議員—猪野俊平 (中国・四国), 広瀬弘幸 (近畿), 加崎英男 (関東)。  
(B) 会長—山田幸男。(C) 幹事—須藤俊造, 阪井与志雄。

下記の事項について相談した。

1. 総会に提出の議案, 会費の値上げ問題について幹事から事情の説明があり, 種々相談し意見を纏めた。
2. 昭和35年度庶務・会計報告の原案を検討した。

## 第9回総会記事

評議員会に引続き6時から9時まで同会館に於て第9回総会が行なわれた。出席者は45名であり盛会であった。次に会の順序に従って之を報告する。

1. 開会の辞：須藤俊造氏
2. 会長挨拶：山田幸男氏
3. 会食：夕食を共にしながら近くの席の人々と学問上の意見を交し, 又快談に花を

咲かせた。

4. 議長選出：出席地元会員の長老東大教授渡辺篤氏が選出された。議長の挨拶が始まった時突然停電となったがそのままお話しを続けられ、今年9月選歴を迎えた事等をユーモラスに述べられた。

#### 5. 議 事

A. 会費値上げ案：先年来会員中から会費の値上げをしてはどうかと提案されて来たが、なるべく之をさける様に努力して来た。然し最近諸物価の値上げ等により現在の頁数を維持して行く為には会費を値上げする以外には方法のないことが種々のデータによって阪井幹事から説明された。この案は全員の賛成を得て来年度(昭和37年度)から年会費500円に値上げすることに決定した。この後会員中から会誌に相応しい広告があったら掲載し収入の増加を計っては如何との声があった。

B. 庶務・会計報告：「藻類」9巻1号に同封した報告によって阪井幹事から説明があり、承認を得た。尚、この後10月5日現在で会員数は360名であること等を中間報告した。

C. 会長選挙：山田幸男氏が当選、今後も会の為に尽力して行きたいと挨拶があった。

D. その他：種々の意見があったが今後藻類学会を植物学会大会開催地に近い都市で行ない、その近くの人々を会員としてふやして会の収入を多くしては如何と福島博氏からお話しがあり、種々の意見が出された。又同氏は終身会員制を考慮しては如何との意見を出された。

6. 懇親会：和気藹々裡に自己紹介が行なわれたが、佐藤正己氏は今まで「藻類」の赤い表紙は見にくいので少し淡くしては如何と話があり、広瀬弘幸氏から淡水藻の和名が少ないのでその下拵へを会ではどうかと申し入れがあった。又渡辺篤氏は微小藻類のシタムのほしい折には東大応用微生物研究所へ申し込めば大学等には無料、その他会社の研究所には500円で配布するから利用されたいと話があった。

#### 出 席 者

秋岡 英承	千原 光雄	江越 千代	福 島 博	平 野 実
広瀬 弘幸	今堀 宏三	稲垣 貫一	猪野 俊平	入来 義彦
岩崎 英雄	加崎 英男	笠原 和男	北見 秀夫	北見 健彦
小林 崇	小林 艶子	小西 健二	熊野 茂	松浦 正郎
中沢 信午	西林 長朗	西沢 一俊	野田 光蔵	野沢 ユリ子
大房 剛	奥野 春雄	大西 一博	尾崎 弘忠	阪井 与志雄
佐々木 正人	佐藤 正己	瀬戸 良三	須藤 俊造	高松 正彦
建 武	照本 勲	徳田 広	坪 由宏	津村 孝平
渡辺 篤	山田 幸男	山岸 高旺	外に伊藤・武田両氏	

(ABC 順) (阪井記)

## 本学会所蔵の雑誌及び論文別刷目録

(1960. 12. 1~1961. 11. 30 間に受領せしもの)

## 別 刷

- KOSTER, J. Th.: Caribbean Brackish and Freshwater Cyanophyceae; *Blumea*, Vol. X, No. 2, 1960.
- TSUBO, Y.: Inheritance of Streptomycin Resistance and Dependence in *Chlamydomonas*; *Bacteriological Proceedings*, p. 117, 1960.
- : Chemotaxis and Sexual Behavior in *Chlamydomonas*; *The Journal of Protozoology* 8 (2), 114-121 (1961).
- : Chemotactic Behaviour of the Gametes of *Chlamydomonas*; IX International Botanical Congress, Proceedings, Vol. II. IIA. p. 404, 1959.
- SUEMATSU, S.: The Somatic Nuclear Division in *Trentepohlia aurea*, the Aerial-Alga; *Bull. Liberal Arts Coll. Wakayama Univ.* No. 10 (1960).
- NAKAZAWA, S.: Nature of the Protoplasmic Polarity; *Protoplasma Band.* LII, 1960 Heft. 2.
- : Dynamic of Morphogenetic Fields; *Protoplasma*, Band. LIII, 1961 Heft. 1.
- : Developmental Mechanics of Fucaceous Algae XIII, Polarity Determination in *Coccophora* Eggs Relating to the Position of Jelly Stalk; *Science Rep. Tohoku Univ.* Vol. XXV. No. 3, 1959.
- : Developmental Mechanics of Fucaceous Algae XIV. Plasmolysis Pattern in *Coccophora* Eggs; *Bot. Mag. Tokyo.* Vol. 73, No. 860, 1960.
- : Developmental Mechanics of Fucaceous Algae XV. Effects of Ultracentrifuging at Later Stages upon the Development of *Coccophora* Eggs; *Bot. Mag. Tokyo.* Vol. 73, No. 869-870, 1960.
- : Developmental Mechanics of Fucaceous Algae. XVI. Plasmolytic Patterns in Ultracentrifuged *Coccophora* Eggs; *ORTON* 15 (2) 129-136, XII-1960.
- : Developmental Mechanics of Fucaceous Algae XVII. Differential Destruction of the Cortical Layer of Cytoplasm in Ultracentrifuged *Coccophora* Eggs; *Bot. Mag. Tokyo.* Vol. 74, No. 871, 1961.
- : Developmental Mechanics of Fucaceous Algae XVIII. Localization of Protoplasmic Elements in the Developing Rhizoid; *Bot. Mag. Tokyo*, Vol. 74, No. 874, 1961.
- : The Polarity Theory of Morphogenetic Fields; *Science Rep. Tohoku Univ.* Vol. XXVII, No. 1, 1961.
- 坪 由宏: クラミドモナスの交雑法とその細胞質遺伝; *核と細胞質* No. 1, p. 30, 1961.
- : 寒天培養基上におけるクラミドモナスの鞭毛; *藻類* Vol. 9, No. 1, p. 21-25, 1961.

- 谷口森俊：薩摩半島の海藻群落学的研究；日本生態学会誌 Vol. 10, No. 4, p. 137-140, 1960.
- ：田辺湾内の浦海藻群落；医学と生物学 Vol. 57, No. 2, p. 47, 1960.
- ：徳島県由岐の海藻群落；医学と生物学 Vol. 57, No. 6, p. 225, 1960.
- ：横浜本牧岬の海藻群落；医学と生物学 Vol. 56, No. 2, p. 43, 1960.
- 神谷平：中部日本産フウセンモ属；植物研究雑誌 Vol. 35, No. 6, p. 172, 1960.
- ：接合藻類細胞の電子顕微鏡的観察；愛知学芸大学研究報告 Vol. X, pp. 39-54, 1961.
- 津村孝平：珪藻類の研究の手びき；植物趣味 Vol. 21, No. 3, p. 8, 1960.
- ：珪藻類の研究の手びき；植物趣味 Vol. 22, No. 1-2, 1961.
- 照本勳：マリモの凍害と乾燥害；低温科学, 生物編, 第17輯, p. 1-7, 昭和34年.
- ：アニアオサの耐凍性；低温科学, 生物篇, 第18輯, p. 35-38, 昭和35年.
- ：マリモの凍害に対する凍害防止剤の効果について；低温科学, 生物篇, 第18輯, p. 43-50, 昭和35年.
- ：ボウアオノリの耐凍性；低温科学, 生物篇, 第19輯, p. 23-28, 昭和36年.
- ：マリモは寒さに強いのか？ 科学, 1959年11月.

雑 誌

БОТАНИЧЕСКИЙ ЖУРНАЛ： Tom. 45, No. 8-Tom. 46, No. 8.

日本菌学会会報： Vol. II, No. 5-Vol. II, No. 6.

水産庁内海区水産研究所報告： 第14号 (94), 36年3月.

箱根博物： 第1号, 1961年8月.

役員移動

今般、本会会計幹事阪井与志雄氏移動に伴い、昭和36年12月1日付をもって編集幹事舟橋説往氏が会計幹事兼任、又秋岡英承氏が新たに幹事に夫々委嘱された。